

地元企業の参入促進を目指し出前講座を実施！

H30. 2. 13

～近畿地方整備局における工事の入札契約制度について～

木津川上流河川事務所

平成30年2月13日（火）に三重県建設業協会伊賀支部の要請を受け、工事の入札契約制度の出前講座を実施しました。

地元建設企業は災害対応や地域経済などを支える大きな役割を担っていますが、厳しい契約競争等の要因から、直轄工事の受注機会が減少してきております。

この度、木津川上流域の地元企業（伊賀・名張地域）の直轄工事への参入が促進されるよう、総合評価落札方式に関する評価項目や企業チャレンジ型や地域密着防災担い手B型等の様々な入札契約制度の取り組みについて説明しました。当日は地元企業の方々、約50名に聴講していただきました。また、木津川上流河川事務所からの紹介として、現在公告している工事をご紹介します。



【開催概要】

日時：平成30年2月13日 14:00～16:00

場所：伊賀建設業会館

主催：三重県建設業協会伊賀支部

参加人数：約50名

【講座内容】

- ①近畿地方整備局における工事の入札契約制度について
 - ・総合評価落札方式によるタイプ毎の評価項目と加算点
 - ・総合評価方式における新たな施行の取り組み
 - ・その他（余裕制度を活用した工事、施工箇所が点在する工事積算方法の工事等）
- ②木津川上流河川事務所からの紹介
 - ・現在、公告している工事について

開会の挨拶



三重県建設業協会伊賀支部
和田支部長

①工事の入札契約制度の説明



近畿地方整備局
企画部 技術管理課
矢野課長補佐

②木津川上流河川事務所からの紹介



木津川上流河川事務所
細川工務課長

【三重県建設業協会からの感想】

- 伊賀・名張地域から多くの企業が参加し直轄工事に感心があることが分かった。
- これまでは、入札に参加することができずと思っていたが、参入促進等の様々な取り組みを知ることができ、今後は受注を目指して頑張っていきたい。
- 今後もこのような講習会をぜひ開催していただきたい。

